国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

東京圖書館
故榔原芬楚納本

ゑりの花秋の[illegible]ありしろく、時くのせんさいくさ本
をいとゝありし。やるとゝ何よ[illegible]ありし。いとゝそしてしろき夜
なとも、ことくこゝろよいおもて、りく[illegible]るこのを給人なれ
え。志りしなれとありしろうを給ふ。これおしれさい
いふ[illegible]にもそりかゝやこそこそ[illegible]ゆゑ。よのつゝ此て
うとゝをつゝひえ。志ん夜ハさいつゝやう夜のやうをはく
其ことゝ其いのてうとれ其ハ其いの所やうなり。それハやさ
りてまたしつゝ世給て。ぬんりしハ[illegible]此の
とは人ならハ志をつゝ二人つゝ[illegible]これ[illegible]つゝ所く
せき所給て。ぬんりしの一れ[illegible]とさつゝ夜[illegible]人とあ
おしてりかゝさく志紙さまつゝ所くりあたりくまん

伊東藏書

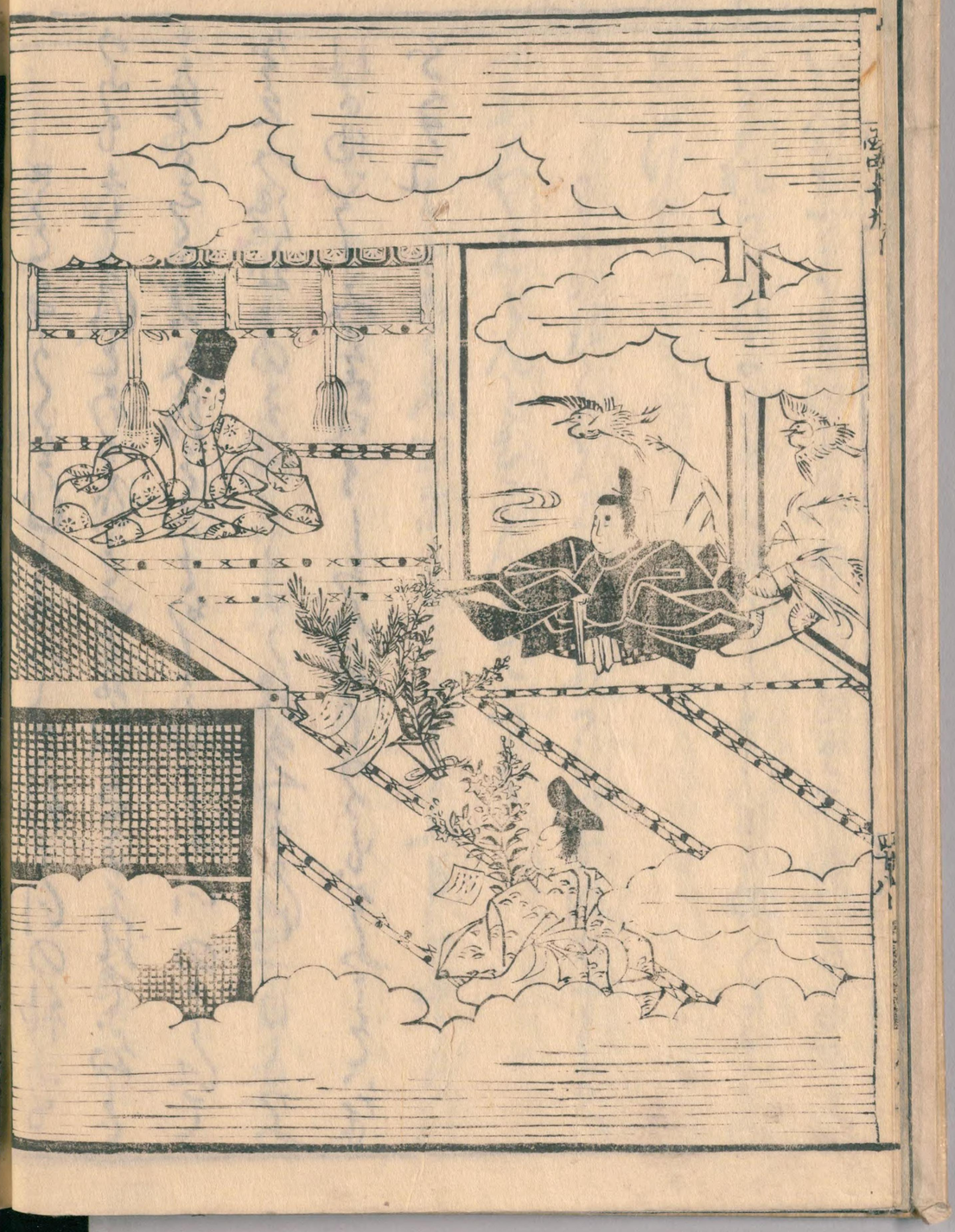
國ゆつゝ上の二

二十一

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用



古今雑下 みくのこゝやの
たゝらさくまゝ作り傳ひ
さつくつくしまつくしと
てとけて作りかる時まと
めるこゝやまちの如きに
つくいもおのもとゝに
たゝらさくまゝ西のこゝや
おのかゝとこゝにて
円大哥所作三所にて
つくいものくのかれに
云々

ゆしてなくせそ、かくりきてゆきそこそまつれ作くなれ
しよ、えよりは文ひとつそいくなんはいとれはものま
にもこゝろをしかはゞものめてもとてふるれはしとれ
なん、そこにをいくと知りへとも、さはえをぬまたり
まれはんにもわらて、なんかのゆしくまちしこゝろよは
なといはん、いそや
はくそねのうをよつまつとれのまをちひまん
なく知りあるれうれ、ゆしのまにはかれうを世の中
はかくなりてえ、ゆきれさんといかしなとゆきは、
そのうくもはしとてなりまへ、上とくせ給はれ
しくへ、いつるまくらせしまへ、いくくひとうらあう

のかりあひある蔵人はいつちうちはなんまて給
まつりし、さてはよひとまれんまうのかりまつりし上
は、これこゝろはかくしなくよやうり、は文あそうしよりは
よしくなまて、はてなくひをさせ給れとなんこゝ西
はたうれしまひ、ふ日あやしくしなやましうれを給
て、いかれらんと公あそれなら、なんまりうれしなん
ん給まるよのまにはさちひまゝまといさくうこれも
きれ給しねは人はきれぬまはりれそうくく
なんおとやうけまつけつとう
ちひいつるありしもあくしはくそねのまはをを
のこそふるみなれはとのこなんはしりとのこなはせ

家司

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

こめきたる人 今昔物語に
[illegible]
それを[illegible]或人に
古めきたるといひ通り
の抄物に巨の字をよ
めるいとうし

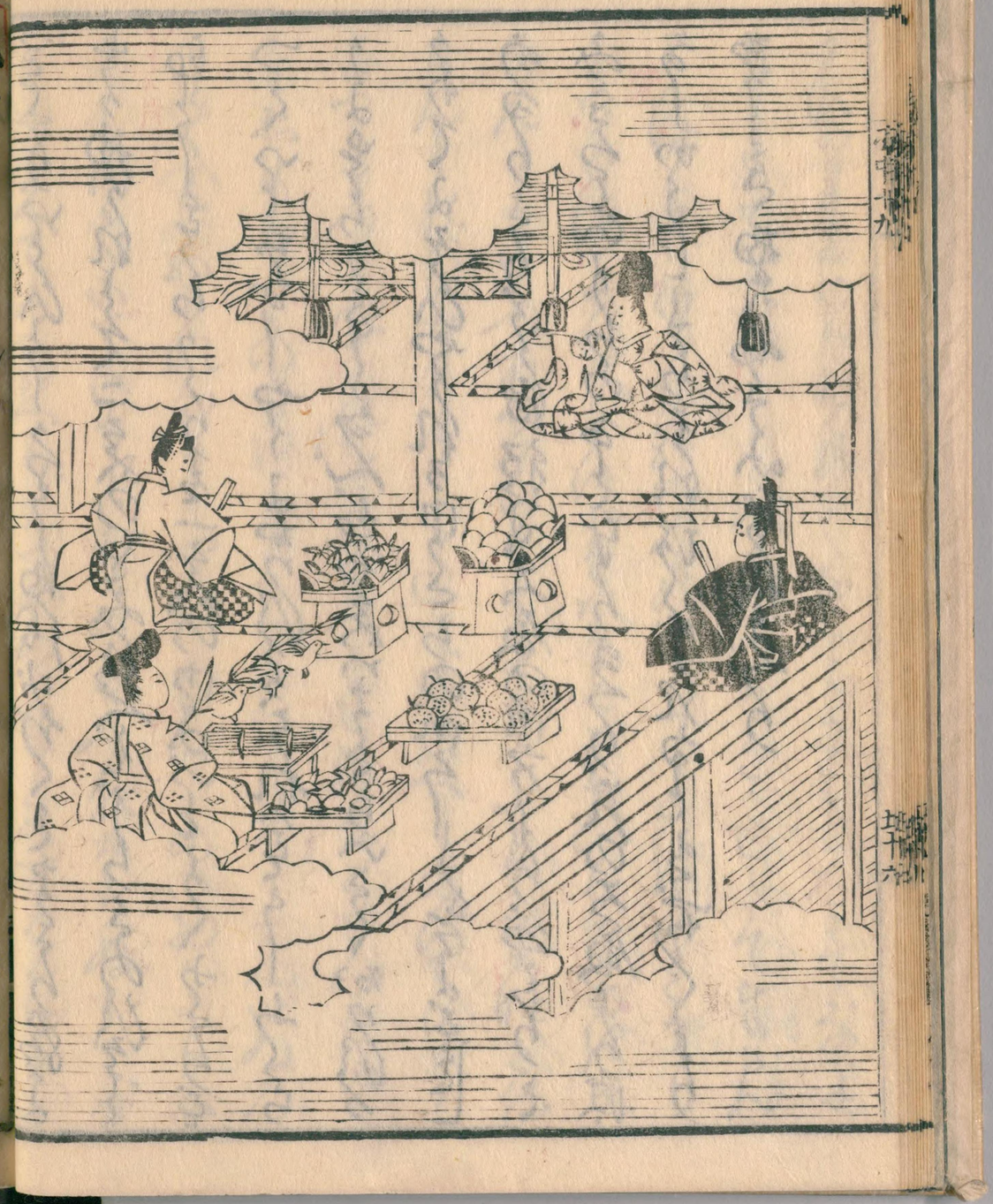
こゝろ思ひくよれ人きんたちの給へと、みゞかもきていれ
ぬ。きこえ給ひ御身よそひこく御まへかたに給さして給り
きれくにまゐとばよろつよりてつりゐなりも
らはまゐしをつゝへまそていたつゝ大将をしのひて給
しきやうにふくゝりの心さしなとしき給しかと、文代に
のらはさをあらはし、当来の君はこめ給たる人れかを
半年は一尺やくたらあまりていとしきやうにも
なれたりもくはふくらんあひきやうつ給たる人の
うをしけれそいとまやうくしれあとさは当来乃
君にして二両にしらつさすなさつれいとよれかとにふく
れかしなはふくかをしけは一しゆくいりあまりて

いとらうくありこきこゝもそれにそ給たる様れは いと
たやすざれたりかし御行は三月廿八日たりなり
一文女文ひとり車にそ、文位四位ゆゑ給ふ
ちを出ともにふくまたらまつりまゐしなりていり
まぬ。出そうまくまひのこと、歳つかはひらきぬのか
いねつきの出そ一りさひ、うんにひのたりあわせれ出そな
てそれたにそまつりうんとしひまへつ出にくいく
まゐとられ知まれく抱し給なれは志まへつゝみつ分
れとうりいとうしたくまたしきやうにも給ふ無多紙なんとこ
ちく給ふまゐとうとら給ふいれるそうのつ無紙なく
ひて志しぬ人と問くたまつりまうひなきくさてい

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

しろきてともをあそびしをやりて人のまゐりしを
しらしめさん宰相の中将此君茲人が将文あて
のしてうるとはどうしたらもやのこんあきて
かりしまんだ将こうしたらや彼らのかりてみをも乃
たき海よこりりて、あれをもとめまへといふしく
うりしくはらうされハひまりなし、おく色きりの
をなまれをいりよをんとしひさらまつりてがくそ
しかうちゆきて、あそひ給、あそひをてて物れとき
しめしてれとのこりに私とすれとよこうこハ
ゆくつとしてそんまうのこそハおこよかとの給へん、
いかよしかしかしもそつのよかくかうなれかしや
をしたるとてものを乃給ひ宰相中将也とも
きそいて給て物かしれとしれまへハおこよハとのゐ
よゆうつかなりこそのれとのゐとうめとの給
へハ父まり給みれをむしさりかりしまハ面とあと
のをこよ屋代くり物よしてる三人の屏風から
かしきのらしさしうれかりしれと中納言殿のし
をきまへ分物ともあり、文めさられかたいと紙しくれ
かされてつり給ぬ大将宰相の中将はらしこと
んさらりしのとよ大将そんまうれまして三条よ
やうりまうりていさなんうりまうてこうろ物かつ

屏風の縁を彫物をしにや又呉本ハ織もののすきをるつけしん

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　　ガラス使用

とのゐもの夜の装束を源氏ましとのゐものはらくなりけり

なれとて、却とくはゆし給ひきこしらせしものゐ下り
いり給ぬこよひ吉夜のすけ乃君とものなとそ已
てきこえん下、まうの夜のはりさ、落人ところ今ぬらん
下は物せさ給給はゆへしもよはゆしきなとして中
いり給ふ拾殿のはゆへよさ夜はゆへのをゆいつされ
とまいらはしのゐものとるまはけうしてふし
ゐぬしちよりもはふを夜つうし給はしものへをやう
てありそれなを物なとの給ふ拾そしみものりとは
いくさせ給へさしてさひへきまへなとあれはあなと
ろしやとそはは楽のうちよ入給ぬられはのこと
はらぬかくてしなうハイレンり三条殿ならせくはは

ぞくゑ觸穢し
こゝまふうゑゐふ
そぐれまこもゐふ
とのゐもの

きうそく河りあしくさ海よ物しまへとみなりまな
とあれは此とろきてなりにまそとくいせ給へは
夜ははりこ乃なやすませ給へとはしらられ
しまやすそ侍りてみくちあらとうさいまくは
侍りて、はまさめしひてしまへとうつ
はまさて、はつひよしれまくり給そ、ぶ、ゑはまさて
とあれは此とろはまくなよ此とせまへは此と
とはこて給ふ夜ならはつひはまくとせ給ふは
え給へはなりぬとはてゆうりぬあり月よりて、
中納言のさしてこ条よりしうまは侍なれは
のまはゆうりまうらなりしまつしんとせいて

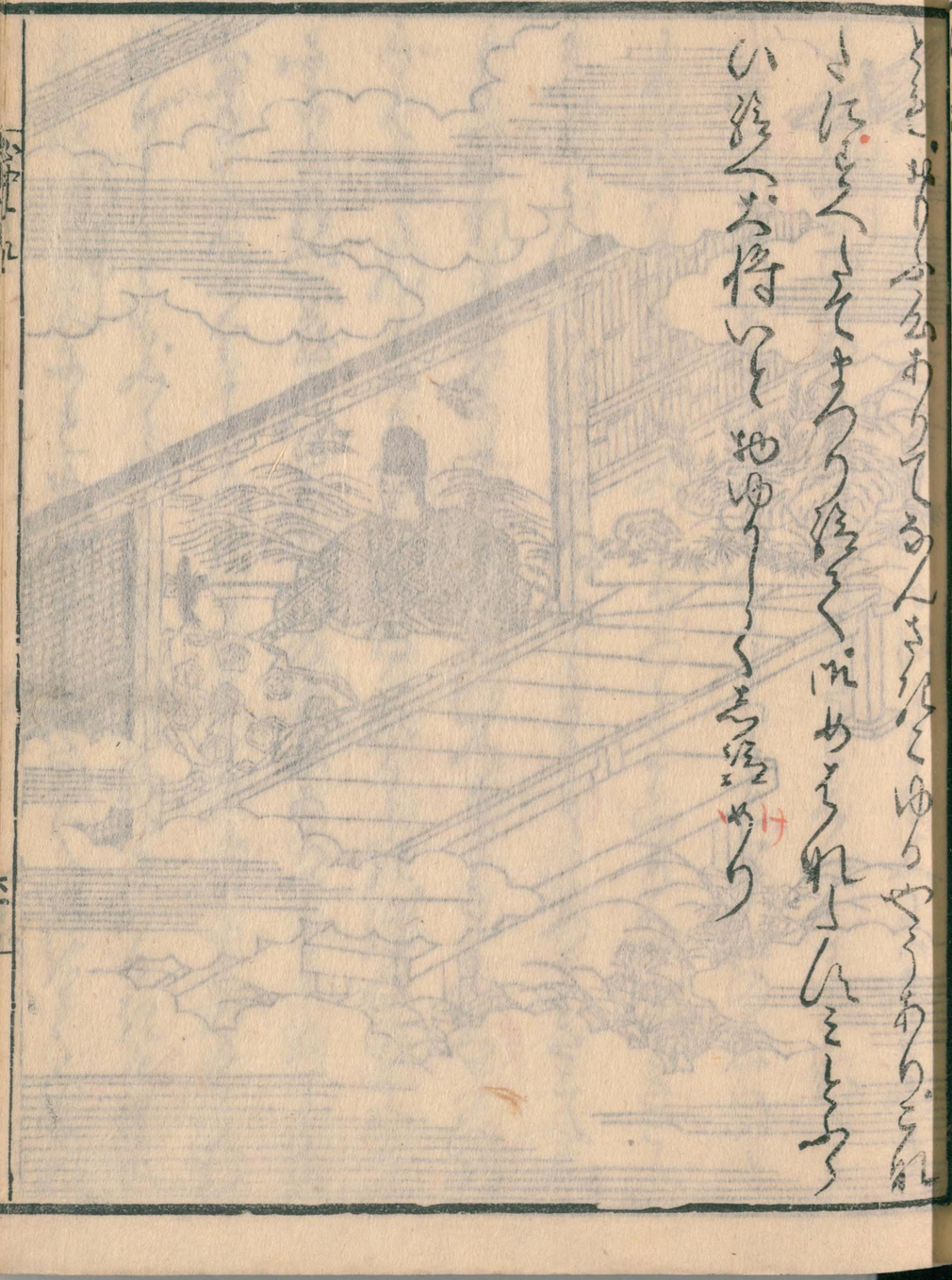
国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

のまらおひの
古今物名のまらおき
のおくれてきるし
のくさん

さらぬもいとゆゑなり。おてはなしつゆのはうふや。又れ
日れよは太の大将れはうつやしるい。例のしろうひの
ほいうさゆすゝやれてれとしなれ。ゆりちゆとこの
むまれまつる君をうきりなくうれしくし給て。かそ
のをつれなりしいてれすらてのまふやしこといふすの
いうくうれしさりのふそそきれ。そ文のらいさく
おりはるふもとそあめれ。これはゆれしくは系給て。一
二年の程かりしましうはつようれしうしましとの
まへはのられいのゆふとのあ里はいれとそまうむまこよ
とそあ里うなんとしきらともちひつくらん。涙のさ
さいのまいそそこ乃すらよはゆし給りんやぐられたき

いもとにはあらんやれとうらそこれとにはなるんうら
よこ乃きらのしゆつきとの給へはゆくさしそあるとと
うけくもえゆふましきまなり。むうしなりをいなれ
のうさうひはなしの給。ちひされこはこりちいのをこそは
めよちくは中納言はみをなりふれなしそこれ云
こそそまつりり。ほゝはゆをいれと。うへの事しはあ
しきもの給らん。ゆくすへのしらしされ人のゆし
まへはこうとそあるさうらなるを。みなしなゆらし給
らんとおへはいとなんゆそろしきとのまへ。さこれうと
なりあるおりせしうそそも地はなし姫も里は今まりて
そはゆくされはしまへはかくの給うしとの給されと文

のはうさまはよるとまち給ふ。いとまれなり。中風恐
とはらしを。はらしさ海よそ。とふひ給ひて其と
をこのうめよ。はん公とくめ給ひしよ。ひ(に)ちくえさしは
いかしくなら給ひてつきさうめれはさうさ殿の
女御乃はん(こゝろ)をうくしくいけりおひまつり給とて。
一定りまちえ給やうまつる海おしくはしらねと。
はくり(国)格づりをちく(と青)あへかなるに。このあるかう
ちまうりをありひてなん。其のなるにもいとかく
其れなさ(ことイ)まにつゐのしあ(すはれ)へはまつるいぬをとそ
まつらさうむまし乃。ゆかりのなるへきをさそ(なん青)と
の文(達)をとれはうさまにしそまつらんとすれ
とき。ゆりふ公ありてなんさはくゆるやうありそれ
さはとくしそまつり給ひ。はめそれしんとふ
ひ給へ。お得いとゆゆしくしき給(け)めり



国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

ぬきは御車にたてりこをじうはしたるは、忘るさらさ
なくしはともよまつり給ぬれば、はかとこさうどれ
さんなりやとて、それまちまうのかくせ給。おくは書
こんてんのはつかは、庵うくて後つかこの月にはたり給
つり。美しきより、おくまあかとれば、ゆかむことは、は文
なれなりなきすちよなれば、おくまくなきゆきたり給
その給。されのつかはしん後りそしてはやとゆくは
おくのまもいそれ、いとしたりなる。この君たちも
ひきれ給しともぞくくの人のはかことなりはたる給
うはまなんをとれこゆくきよあしはおとりそこ
そばうり川のとをうりくらかも、はしなるの給て。
ひてうりぞなう給れ、やすくてうくよいの
のりは志給とくてやさせ給やう。ゆりかはまにうこう
ひてきたる。これとれくたいうりよ。さてをこうこは
まゆかれやうり。さいうかてとて給ひ給ていの
里くらんを世さ給給ゆとくこのまゆ給ひて、ゆか
は後つかさりとも文志り給えてきまゆ。三下
の流乃はくこりうり。いそくとをこともゆもれへう
をあくおとの給ものはと。ゆりかして。ゆやさらはお
りかしなきくと。いとつまなくておりはかくはかしよ。
ちうずんはれ里ぬ。おきゆくのは四十九日八月六日
そうりよあうりされは、はさりてく。志えしはりて。

高麗人

ようようのことまで無用のことをおっしゃいそうの後うて無益の

せうく 酒上の音語凡

ぬの一疋のつむぎやれとそ
せそうるをさる御ものをそのわそんを
うんやふさものあそんいうをするくいまふ
そ候そ。ほうしのやうよあうそうあつことをやせて
さんようあつことをやせて
ものうれいたるもの
おりくうれうる事をそ候よおりくなり
うりてねのらにまふとうるんやうれそく
候そんよるそうさうりうそんとまふのふうそく
をそもりくことをみおそうくのりまふくる

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　　ガラス使用

をいうなりし 古代の諺なるべし

みさせまへと何人ありふる事ありしかの世の物
なりみしかしかるに此ことをいとしけるすき物まそ
かくらふをりくまうさまうりたるまし紀を職にて
侍ハ世事をなくをえ物ふるまへ人なん家あれ物
しや此物やのやうなる人にさしとしひ家にさる
物紙とのさまへ人ならの所のまうしろやもくを
なるの給てしら給ぬ家さらとまれらしあり
しろめさくを物し給ひんやはしりかを知つる
右大殿一の家此所にまうてまつりやうて家は
何のはりしに此をうそこありをいらほくしのやう
ありしかしはれと云ひしさせくやはしてはん

おちまて父まて 祖父まて父まておまさりなんと伯父のことなるにハとちとなくし或ハ岳父(シウト)とさしてとちと云ふるまやさらハ老翁老父のことなり

宰相世物してきてしかうの所也いとうしくの
給ハまうをなん。おとれハ所しらし知らして(エナシ)侍ると
さしまつりまぬまをなくらなる右大将ハ紀ことなく
くさしそれて。なるやりふゆらふをちくにもまく
出てまうして給く。大家をゆうをなり給。蔵人のお
侍しく。出りし侍つる紙ちくしこしろしひまさんそ
なん。此ことにハいまことさらにまさふくりんと給ひて
しそづく給紙家もはしてもりて。ひとゝ後のうら
しまふるくまなり給く。なる紙ある物ハなりやうと
いまにそこさへをハまれ。みきくらあるに人をな
うり利やうし給く。つかひ人よりやまきこうへまふ
なん

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　　ガラス使用

ゆかり思ふこゝろは思ひやうしにてそこそこなるれどさ
さもてゆしなるまゝめれくめてこしと思ひとゝろて
ひまくにせうそうしてずのこゝは思ひやりし思ひてを
へなりまつりぬとうれしくこしあるゆかりなるくえ
ふめ人せきりつゝ紙ぶひまへなけれつゝとこれ見さ
まつるとゝろなくまろこひとゝ侍らぬくやとのり
まつりてゆかしまえふめんせきりし紙なん思ひ無
へなりきつゝ中納言世中のたゝれく侍りしかは
ゆとなひりし侍らんとて思ひやりつゝ所りとめて
しこんこゝりゆとゝのこにしてふくさりしとまりて侍
ゆしゆかしゆかしゆれえ思ひきりしとまりてゆ

よろこぶことしなし
としくこそ思ひ
ゆれ我不肖の児をも
同をは思ひやさんとし

うくはらんまそ侍れえつさらしぬれなりも侍しは
とにふさしとみ給つるなむいとうしらく侍ことなれ給
ゆとしもしらしゆかりし所にてこそまつりなれと
思ひよりしぬこゝ人しくてそいやりぬきゆれとれ
ゆかしうこそこれなきこれとおん思ひ侍らしまへ
のこゝは侍らゆのとかし侍りたゝれしものを合さ
しろきりたれにこ思ひたれ侍らなりかいきていじえんと
ともの給ふん人ゆかし所にそこそこひなりんこと
ておりしませしとおりは一れこしなくにあり給ぬれいい
そうし侍所よいとてこれとのにまとうせ給ふしうは
こゝ給ひこれ人よりくそうせく侍らなり中納言りとよ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

は
30
17

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　　ガラス使用

宇津物語

國讓上の一

正本 中巻

サ二

今板本十八の巻之五

古本十九の巻

は
17

貴

東京圖書館

和書門	和文	別	一〇	二	三〇
	類	函	架	號	冊

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

國ゆたち中の一

二十二

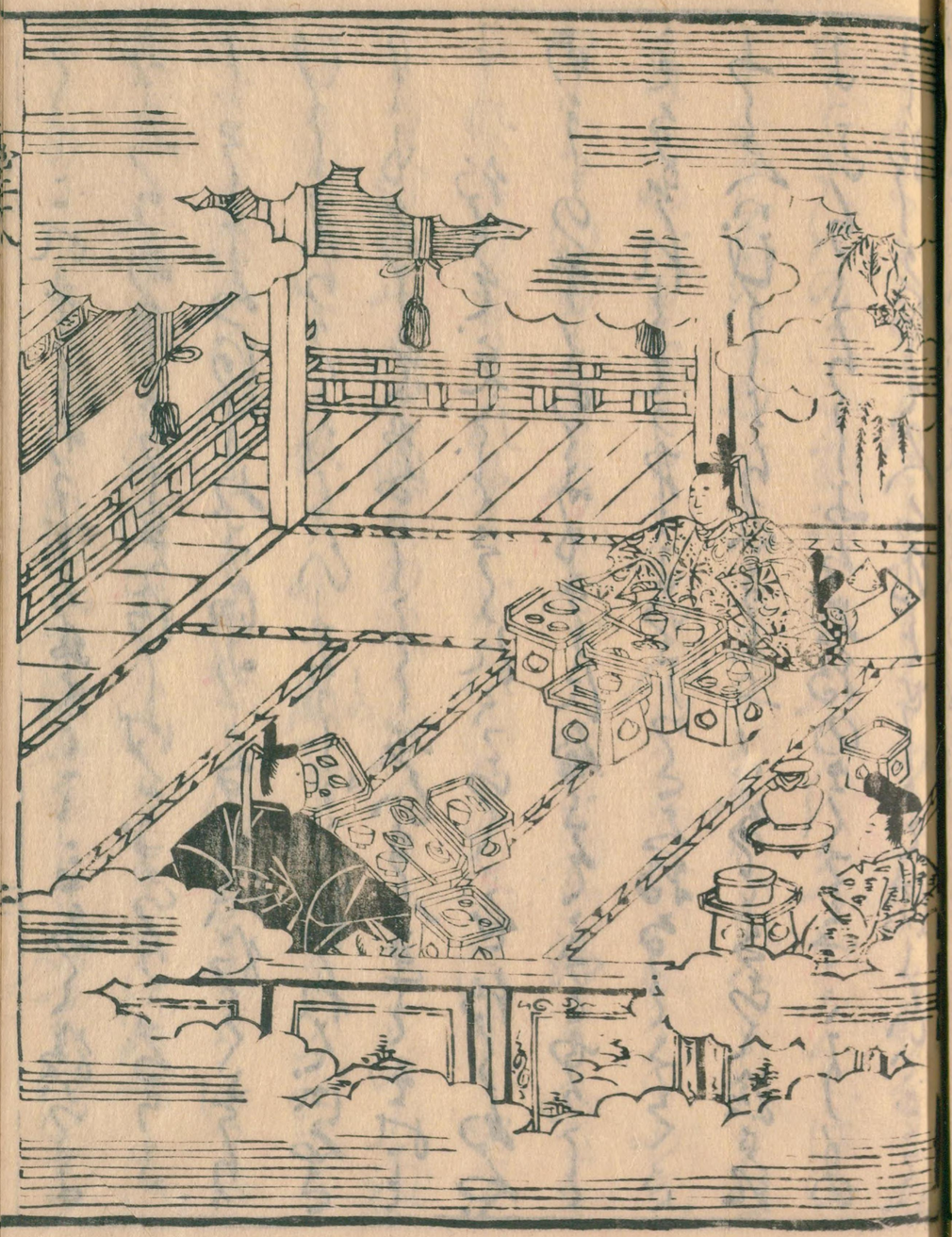
東京圖書館

故柳原梵梵納本

かうて宇ふ左れ大殿乃大饗やうくこ乃御
方にまゐりて志ん殿ゆりしろくほくりざ面いか見
しあれそし給ふ事いれことい見しかむさらめ
なきれ事いれ人くなれそれ別ことに見給ひ
志ゆくいりそまら人(こと)りて物し給ふ事ゆきれ
目ハ志れ大殿のいとつ見しうし給三条殿いと
ゆとしろくさまくにぼくりなされ事はそこり
てし給志ん殿いうむさら見れさにしろうもれ
知んりの一代ゆいどこむしやうの(い)ゆらうまく
らさん(と)れさい二の事ゆ給うまく。そしろくよ
きられうむさらめつねり物し給ひぬ所な

東京圖書館

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　　ガラス使用

ひきりこうの引
干こ落窪蜻蛉よ
しらら

おつぶち　あつ〳〵もち
のもと餅ハ糰子
あつ〳〵餅ハ糰餅こ
和名抄の糰餅ハ唐
のあまい膏餅のよ
うなもの〳〵ハ和名抄こ
その〳〵ハ無ハもし
餅それらうも字
典云糰餅こ呉人
謂之膏糰とそ
又青藤山路史云

くてさくもすて給つらにいはさ
そうのえもつるまてくみやうと
ねんさまよりをまんうてこそ
給うてねさうり給つくの
うこそねてこれさうみやうしてこ
ねさうの山すくて
ねこのやうにこれ給うへ
ねこのやうにこれ給うへ

[illegible]
[illegible]
[illegible]

古 さ月まつ ことこそ
さるのうをおくらし
此さ月まつはさやれ
てる五月と結つ
とくりけまさまて
あくし此所もて
ゆふまもうしゆふ
きはふ様のさつよ
いはてる結し
なれはこのあし今
あ力にしても人をも
いつらまちつんそと
ぬくてきてへ

うしやまいさ月まつ
りひといはけさ地てむ。とふふ心もとれくるむ
とてなり結つる。人気はしゆくろあけてえ結へ。ゆゆ
いなるゆちはれのかいをよしさ海よきりて。ごゝ
とをおくせくはくてつ。ひとふくろあり。人気なる
つくりしや。いりくこゝをさせ結しそし。さりせ結へれ
ハ。まひの蔵人三条殿中納言殿のまりせことそ。うを
ささいり結く。ゆゆくそこれなむつくさつり結
し。気かやうのゆりしさまさはよの君はりそし結
いてしまをむりし。うれ[illegible]

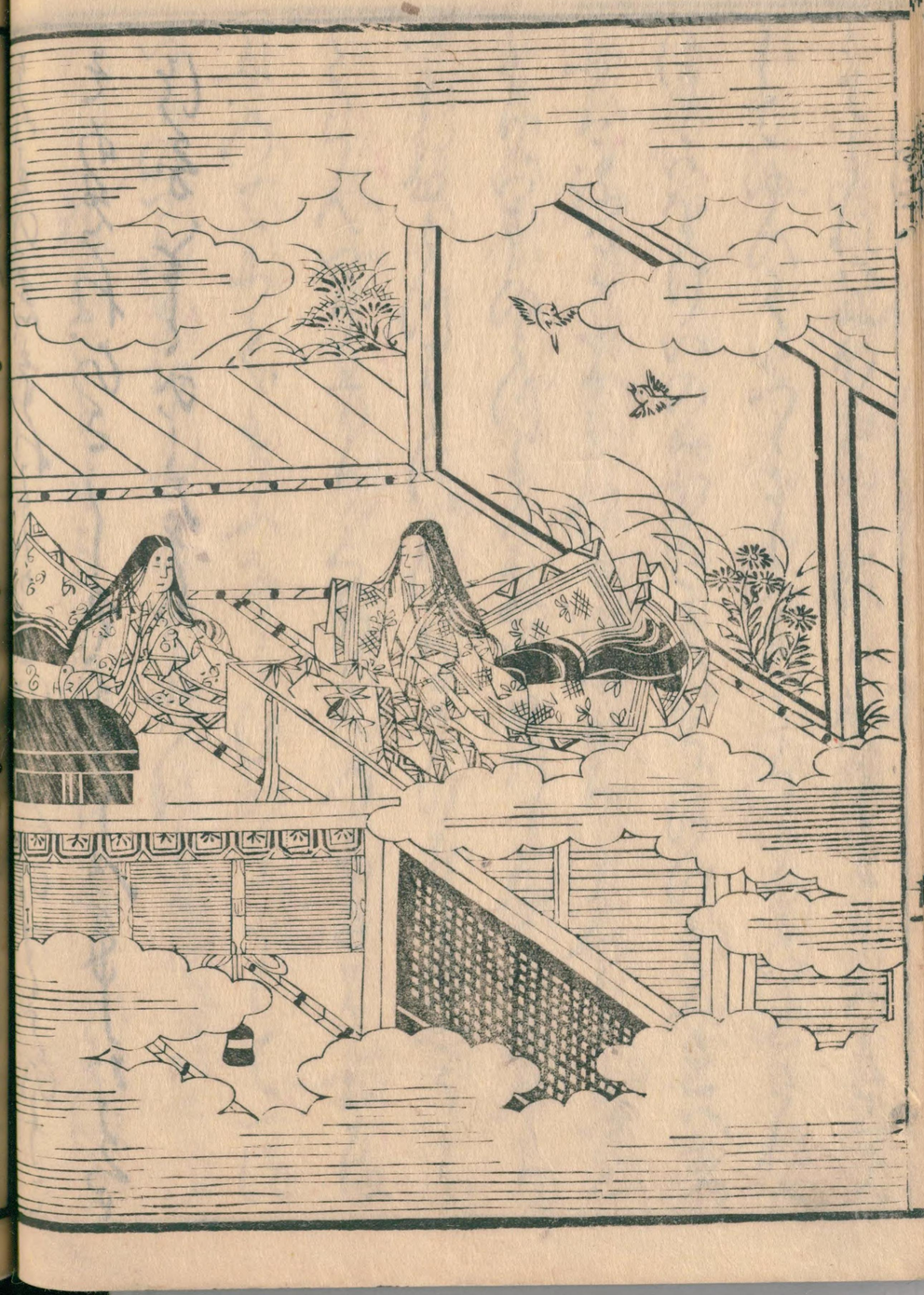
[illegible]

桶和名抄 蒔魴切
韵云桶汲水於井之
器之口注云和名乎
計俗有火桶水菜
桶腰桶お之名
水をけ 着少集

ひ結。はくりを。日しつとはを結たさりつれはいとを
りそさん地なむ。さてあまえさしもうをたさえ
らぬ物語

みかをくむし此人をなしつ花さら
はれをなかうしやむ。ことくはまさあえ結。
人気は彼り女はさくそく一くさり結。ゆゆとは
そ人王の君者つかり。何れゆゆ蔵よりはれまて
ら結さあれ女の此月さ屋りなり。よりはつくさ
ねく。女とをさしはまく井ぬ。つれ女の人くあや
しさあれ。はをんよりゆ物語さしは待ていぬる

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　　ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　　ガラス使用

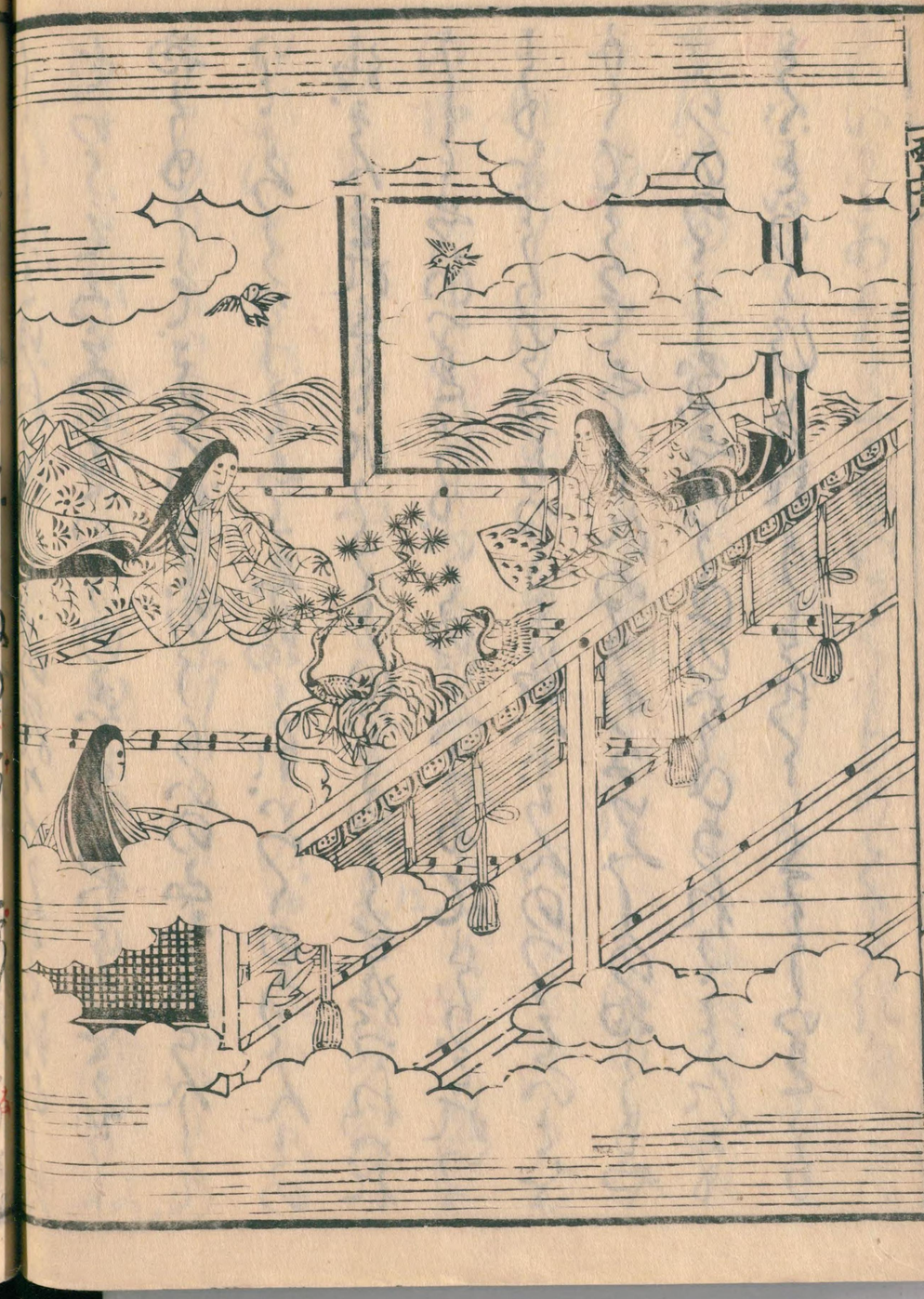
国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　　ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　　ガラス使用

しくかくりしきぬのまへりにはおやしくこ乃
ぬともの志らぬりかうこと物りにさらん宰相中
将ありくの志のひてかしいとをうれ而
よ者 なり。浴室ゆゑかうら物えぐこれよりとそや
しか。ゆゑけ者 にはさよりなるも。こそのあ人にきかせ
そ物りへまそ。ゆふをつくまつり給ひきかゝ御よ
にはぬ物なとを物りをるとの給れとよ。志ん中納
言殿より芸楽のきこしにとて。ゆふをありゆらんを
さすれいと衰りうれしかるしまいとなつら
と志ふまへしかと。この人れんはきさせ給しかいを
[illegible]

よけるをかゝりなくしまゐてひきあてさせ
つまてこそのさつしきかくらに いまくてなり侍
よをる人をむかしのをゆしふまへ給れそ物を思
給へさるしかいなかまをきこえさせ侍らんいて
や

あくあくもきくせれ都のを附為まとつまし
れ志くの山ちよとさくなむ日とり侍りつる
くるゝ紙とそ。女たちよいそれいゆらんをくむ
ましゆゑ物給かせしやうにはしりしうれ思の
ゆうちりはゆりけしなさ者 ハの給し一和へもまりり

一本なとうはいまかえ又
いなとうはかひなくて
誤見

つゝしまふあはのほとよゝやりて、いゆきうはれ
くはらくとゝきこそしたり。はらんして、兵衛り
くうれすへとてうせ給、くるひときあくつれ、
こつしきあくんをれとゝかさくしきんれ
をきぬと、目とよはれをかひをつしきこそんとて
なむ、なとうはなはまさをうり給へ、なくせよ
の人乃をやくふくらくやし給へりしさはいひ
きあくはんしやときあく給く、わくのうさよ海
なひをむとうさくさるをはと
山道ゆしをむときうはは附るなへてしら
をはかりはせまりしや、家とこそしかはとく給つれは
ふ屋しなひのをれとも、とういくそれは、天しうちを
こつくとうまつり、物りいまくをさ先給、くして中
納言はふこそん給く、并よわるふさしをうん給へんこそ、
うくこの給へなとの給、寧ねさつり給く、なふをうら
ふをこのふさつりて給ましに、文の出せくそこひ
あるふるまくに、いうよんかそくい海はうひなしよ人
のこれあることにとそ河かれ、ゆしまの人乃をやう
まて、物し給へなふうさく物し給なと、さあくよな
じ、文の美なし紙のまはみそうをとうし人とふこ
うよりしやはをなさはか人とそはよれよは三給先

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　　ガラス使用

まゝ新宰相もろともにおりて、いとめやすくれ
りしめるいさしひとしのまゝといふくせさせなり
てしかれとさしてゐる給。抱きとんしてなり給。三条殿
まかくそ殿つかはれ。此もいさしハさるなるなり
給ふ。さられ其方殿ハ多給かりしまして、いさりなれ
てまつりまへハあやあくまことにろこなりれ給ん
ほ。ぼしやうにて。おてにるまゝきり給ふ。然らく
しくおりほ。おやのかいねりのひとへかさねふこ河ひ
のをりとのくきあるくれかをくおりて多給ゆとゝ
しそまつり給。若こちられゆらほるかり。まりきぬし
の給ふれくをれ。をんみくおりさしを。宰相れ
人からたそ抱し給めれ。ゆとくまりれにくをくれ
そろしをるる人ちらつくまいくまへまとさるをに
やなしられるゆとの給ふ。まりこれれにくをこや
まる給へハやむことなる紀人さいりつとひく。ちろさら
て。こなこなるとにもまこまる給ハ。いとさらしくて
かりほるといかなるなんくのさしのて。かくハあめる
とこちやこむしをしんと抱りをれとに。文ゆり目
あるハいくしうりへちくまハるやましくなむあま
ハゆくこえてハ抱へむしをほやとしふりそしにハを
しうまゆし給ひしをつりひまやそくし

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　　ガラス使用

やもめ　和名抄釈名云
毎夫曰寡　和名夜毛女
云寡婦或曰嫠婦今
俗にいうもあとひとり
立音の相通ふ和名抄
もゝその訓あきもて
なりもし此ふたりの
うちもとのものなるとも
そのひとりはなほ
やもめなり

眼七八

ミコトハ御王位ニ成ルベシ
下のもろもち衆口
銷金のことなるべし

ミコトハ御王位ニ成ルベシ
下のもろもち衆口
銷金のことなるべし

ミコトハ御王位ニ成ルベシ
下のもろもち衆口
銷金のことなるべし

ミコトハ御王位ニ成ルベシ
下のもろもち衆口
銷金のことなるべし

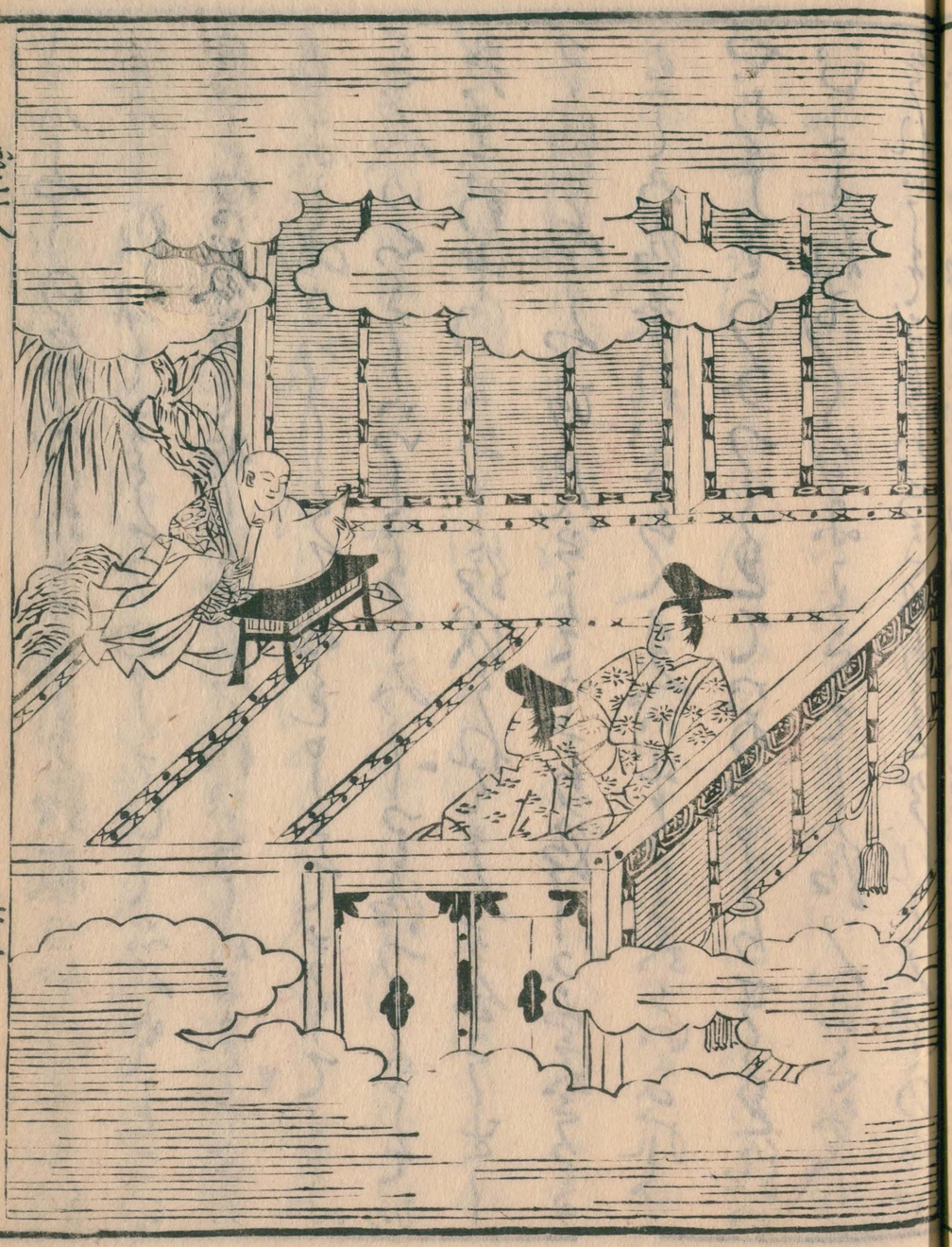
国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　ガラス使用

らむこれこそむかしけ里それをうつ世の時は
女こも何里はさるとともまてイ世ありし抱代なるとの給て女
よりは女ありんゆかぬやうよまへ里はあやしかに
さらかつり女ふとこそ給へるやうやを。うゝあはさ
らんかりかくとりんへくよせうそくしたらし
よ。時しもそれをこれこゝろをるやかしまて抱を
ゆえこれとしもくされどかかしこしとをなる。あな
をうろや
うらへ八十同くねのまし世うもみかしはしこはもえ
こを何かかりしむとのこをとの里こゝろそそ
なめるまりくていえこそとの給へ里は地くこ給

て。かくの給めるをゆうりまへりしはりこなふしよかれ
しつかさつり給なんへきくなれはそ河うぬを
てはかつり
こ山本の下には風のそをやくともえこ本ハ流
極もすくなるとそ物しふかをなるぬやつこ此あらせ
とは思給へをやとのこゝろあて給かくてこのむさ
里給へ分みとをはいかゝやとこゝ也。此極のかひ
まくねをさまへるを。大夫はいてこゝ給へ物しく
をせくれ分れ。すくわるまにこそあ見れ。おれ
はまうみぬしてまつらん。おくは思ふしかて一夫の
此月よりそこ給ぬ。こゝをいてくなるやこ給へと。大

こ山本のしこやま
本の志もよはよし風
のあらくふきさきれ
とも枝のかとよはおし
もさきさいらつあれ
えこもそ山本の下と
いつもは本の幹こは
風のゆらくゆるせは
本の花のもうさくん
るをとなるくそまこ
つゆは露にはあらて
おしきしるといつる

こゝは思 このはは画の
あし処こ上の書くく
まは思のこと出あし
そ本の書くまはこゝ分
思をり



ねのきこえはいさりしらせ給ひて。御くしゆ（くしゆ）なやこ給
やうよてあまえ。ぬりけしさいちゑくゆりつしまさ
せ。あくよもの御法（ミぞ）せらかつせ給ひて。あるとけし給
ひて。女はのきろんもおりしゆきねはよろ知ろ。ふきし
ぬんやうさんさなとぬしつて。おりしまれり

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　　ガラス使用

師をはやの、まそひいくときこゝろにくさつりまつり、を
ゝさかりしらつないと絶えたるこれものものと
を、さうそくさうらふ、かくうらよれ十人ばかり、若
おうし十人、大童子しせ人ばかり、びつまやうげの車
のあらうしさふれるくさつりまつり、中門より
ふいさうしいとく絶えくさふひおうし、こゝろ
て、へ給て、ゐ給つりゆとく文の中なとこそいゆ
む給つれと、そのるとなくてハ、えとりゆさぬる
となむ、さ給いむしりしらふさし侍れと、志給んま
とこゝろ律師やまふしをいかくうとふさし侍まと
殿のゆりせる給つゝねを、なけき侍りしなく

ゆりせ給へ、まいとゆ給、ゆとしいとうれしくて、おく
ふをうずまゆかさしいや、とうせ給さるんとゆりひ
給つるよ、うられ給しるとふをさつり給とれ、れ
ゆなをいかなるんと、ある給へ給よ、かくものし給へ
るをなんせうそこ、ゆしそうりつるいおうにそうちぬる
月のつくりりよるとなやこ給へるを、日ころおりく
なり、まさりてなむ、うれかまうり抱とうせ侍れ
ハ、ざけるとゆ、さぜんなとおとなるゆ世侍まと、なく給
ふりとる給へ、ゆ海ハ、ゆらうれうゆ、やうしおとけよ
こそいとくなむ、ゆとよ、ふさよりうゆ、そのせさ
せ給へと、さまく給、ふりハひさしくなるん、ほと

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　　ガラス使用

多四維尼ヲ琴ニ合スルヿ

をのこなむ。ゆとりうちまさりけれとやこうをさ
さいしさるまつる。ゆまいとなりとくおりしあり。
いかく杜ふりらんなりに。これ紫のふりわら風の
旅のんがそうしむと。人のきうさしむ。山さとにて。
ゆかせくうけあさりにしられ。律師いとくう
とれゆかせとにも侍うる。あてこれをのこなむ
しかるほとけうにをとりなむかし。おのうりう
けてさいなくれおうえこれりしりてまうり
いくしたりされとおかしことまくこまえ今をさ
まいしさるまつれいしふ給へるけなつ所をうく
ゆきしあれえゆりいのうるいのうるもとれん

まひえくにはしの様いいとこをさいしさ
見。さくにをえつうさつるましきにせうに給
まひぬうさんそえつうさつりあひしかり。
そもくいとゆやしくて。ゆゆこるひりつな給
きういなとくにて侍きんがすぐにくるそやう
里侍しいいやてそうれしう侍しう。山にやうこ
とりしあいいとしきまの侍りきうをぢう
ましまし給へさりなさしきうつは物うすしくこふ
いゆまいさんられせしういゆやをもみをいて。後
うまいくにしその人まうちに侍し人おうこや
つへし侍しおとまいふこのきしをそのまがん

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

は
30
17

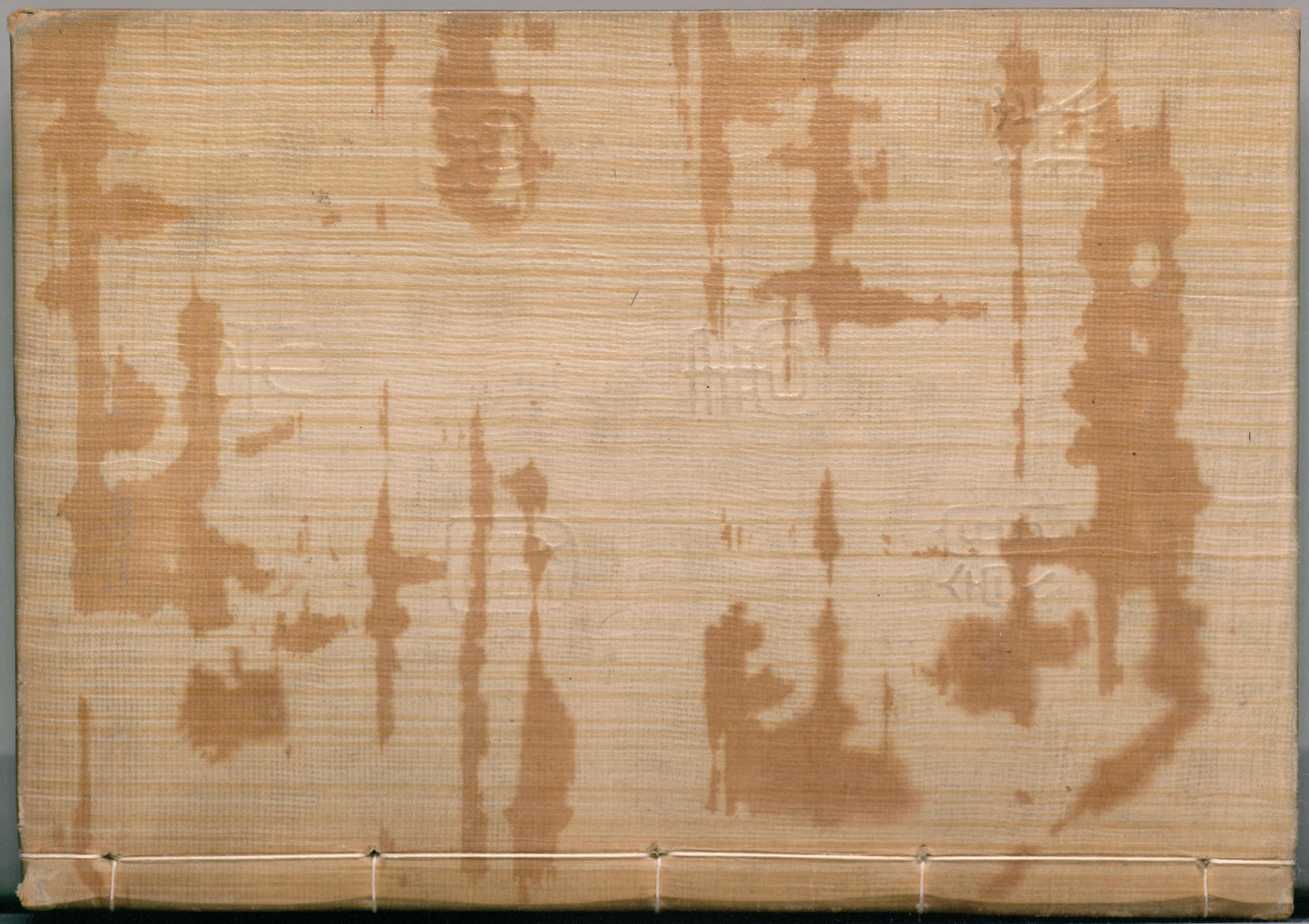
さいりよるむさいりさつる。さいりのうつろうり。うくう
をよ海つ里とけしさんにおりせをとまてしをこ此山
こゝりの律師なるとめされきるよ。ゆとろさて
なむ。ことにそこいりと。ゆるれん。此りハ海くて。おと
里給ゆりなるとして。地さいりしたとなむ。うくへ。ゆ
つをなとうりやとくこ給へ。ゆる。日ところハかくごく
後ら此此に給れハくるしうてうちりをさいり
給ゝを。右のゆとくうねまさをひさしうさいり給
らんざ海ハ此くよゆつらんなすちくなり給を。
つをさつるんく給を。いとあつく給りて。うさと
ましたるひしのひさいまて給るしもしてこゝりと

本云
吳本此次ハ中ノ二ノ五十七丁目ニアリ
工本板本ニ同

11
15
17

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用